

第33回 優良省エネルギー設備顕彰

「ニラク郡山図景店」など3件、 顕彰式を盛大に挙行政

冷凍空調設備の第33回優良省エネルギー設備顕彰式が、3月20日、東京・港区の東京プリンスホテルで業界関係者ら多数が出席して挙行政された。

3設備を顕彰、省エネセンター最優秀賞に (株)HR

今回の顕彰設備は改修設備部門2件、運転・保守管理部門1件の合計3設備で、うち(一財)省エネルギーセンター最優秀賞に、(株)HRが施工し、ニラク郡山図景店に導入した『エコアイ・空調省エネインバーター自動コントロールシステム』が、優秀賞に(株)ユニパックが施工し、川口市鳩ヶ谷庁舎に導入した『低圧損フィルターによる空気搬送動力削減の成果について』、奨励賞に(株)静岡冷工が施工し、日の出白井工場に導入した『豆腐冷却用蓄熱アイスチラー』をそれぞれ顕彰した。

この度受賞された設備は、川瀬貴晴千葉大学教授を長とする特別委員会を2月24日に開催、慎重審議のうえ以上の3設備を選出した。

顕彰式は鹿沼昇・経済産業省製造産業局産業機械課課長補佐、川邊規史・(同係長)、平井昌博・(一財)省エネルギーセンター常務理事、川村邦明・(公社)日本冷凍空調学会副会長、岡田哲治・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事らが来賓として出席した。

定刻の午後3時30分、司会の南雲誠専務理事が開会を宣し、次いで鳥波益男会長が「当会の優良省エネルギー設備顕彰事業は、皆様のご協力により今年で33回目を迎えることができました。」と述べ、「今や、省エネルギーの推進やCO2の削減は、国を上げて取り組むべき課題であることから、我が冷凍空調業界におきましても更に積極的に対応することが重要である。と同時に、我が冷凍空調業界は、お客様への設備改善提案による省エネルギー強化が重要であり、中長期的にみれば、お客様への経営改善、経営支援につながるものと考えている。そして、多くの原子力発電所の運転が



式辞を述べる鳥波会長

止まっている今日、より一層の省エネルギーの推進と環境負荷のない新エネルギーの利用促進、さらに確実なフロン回収、排出削減など環境負荷の低減は、設備産業に携わるわが業界に課せられた重要な使命である。本日ここに顕彰を受けられた皆様は、このような環境を十分理解し、困難な条件を克服され、日頃蓄積された技術を駆使され、省エネルギーに尽力されたご功績は多とするものであり、そのご努力に深甚なる敬意を表するものである。」と式辞を述べた。

次いで、川瀬委員長が審査結果の発表を行い、受賞3設備の省エネルギー技術の特徴について講評を行った。

次に顕彰に移り、はじめに(一財)省エネルギーセンター最優秀賞のニラク郡山図景店に導入した「エコアイ・空調省エネインバーター自動コントロールシステム」の施工者、(株)HRの中農竜二代表取締役が顕彰状が、設備所有者の(株)ニラクの諸田英模取締役が感謝状が、同センターの平井昌博常務理事から贈られた。

また、優秀賞、奨励賞の施工者には顕彰状、それぞれ設備を導入していただいた設備所有者には感謝状を鳥波益男日設連会長より記念品と一緒に贈られた。



審査結果を発表する川瀬委員長



受賞者代表祝辞を述べる(株)HRの中農代表取締役



感謝状を授与される(株)ニラク 諸田取締役



(公社)日本冷凍空調学会副会長・川村邦明氏

「お客様の熱意と行動力があってこそ」と受賞者代表謝辞

賞状授与のあと、受賞者を代表して中農竜二・(株)HR代表取締役社長から「今回受賞しました『エコアイ』は一人でできたものではなく、諸先輩、社員、協力会社、販売店、導入いただきましたニラク様、そして、家族の多大な協力と支援があったので、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。このエコアイは、快適性を損なわずに省エネを実現したいというユーザーのニーズに応えるために開発されたものです。ユーザーのニラク様と計画・実験・評価を一緒になって行ってきました。地球のために何かしたいというユーザーの思いが、お客様の熱意と行動力がわが社を動かし、今回のエコアイの受賞につながったと思います。わが社は、今回の受賞の主旨をよく理解し、この榮譽を糧に今後も新しい製品開発に全力を注いでいきます」と受賞者代表者時があった。

「日本の省エネに貢献して欲しい」と祝辞

最後に、来賓を代表して川村邦明・(公社)日本冷凍空調学会副会長より「私も審査委員を務めており、身近で、実際に使用されている装置の省エネ化の検討と実施で実績を上げられたことはすばらしい。また、実際に使われていく中で、改良改善が進められており、省エネを含めさらにいい技術になってきていると思います。今回受賞されましたこの3つ技術が、益々市場で使用されてくるであろうと思いますし、もっと普及していただき、日本全体の省エネルギーに貢献していただければと思います。」と祝辞があった。

「20万円の省エネは、1000万円の売上と同じ」と記念講演

引き続き、(一財)省エネルギーセンター高度専門技術員の原正幸氏による「省エネルギー政策の方向性について」と題する記念講演が行われた。

同講演で原氏は、国内のエネルギー使用実態や省エネ法の内容、改正の経緯等に触れ、「経済性のある省エネという観点から捉えると、省エネによって月20万円のコストが削減した場合、売上ベースで利益率2%と考えると、月1000万円、年間になると1億2000万円の売上に相当する。月20万円の利益を上げるには、年間1億2000万円の売上が必要となる。」と興味深い視点から「省エネ」を説明した。また、わが国の省エネ政策の方向性では、「省エネ法ベンチマーク制度を導入するなど、一定の水準を示す必要があり、同時に、ZEB、ZEHなどによる新しいエネルギービジネスを生み、活性化が図られる」と説明した。



(一財)省エネルギーセンター原正幸氏による記念講演

最後に、省エネ関連の「補助金」について説明し、講演を締めくくった。

和やかに記念パーティー

顕彰式に引き続き、別室で記念パーティーが開かれた。同パーティーは、岡田哲治・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事の挨拶と乾杯の音頭で始まり、受賞者、業界関係者、報道関係者など多数の方々に参加し、和やかに歓談、あちこちで情報交換をする姿が見られ、堀副会長の中締めで盛会裡に終了した。



(一社)日本冷凍空調工業会専務理事・岡田哲治氏による乾杯の音頭

第33回優良省エネルギー設備顕彰受賞者一覧

No.	部 門	設 備 施 工 者	設備所有者〔設備建物名〕	テーマ
1	一般財団法人 省エネルギーセンター最優秀賞 〔改修設備部門〕	株式会社 HR (大阪市西区)	株式会社 ニラク 〔ニラク郡山図景店〕 (福島県郡山市)	エコアイ・空調省エネインバーター 自動コントロールシステム
2	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会会長 優秀賞 〔運転・保守管理部門〕	株式会社 ユニパック (埼玉県川口市)	川口市 〔鳩ヶ谷庁舎〕 (埼玉県川口市)	低圧損フィルターによる 空気搬送動力削減の成果について
3	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会会長 奨励賞 〔改修設備部門〕	株式会社 静岡冷工 (静岡市葵区)	株式会社 日の出 〔白井工場〕 (千葉県白井市)	豆腐冷却用蓄熱アイスチラーシステム